

語り合いから高まる保育の質

これって不適切??

…という現場を見たとき、

言える?? 言えない??



～お昼寝の時間に ちょこっと語り合い～

A 保育士 わたしは、言えない。

B 保育士 普段は、職員同士なんでも話し合える関係性があるけど、
いざとなると言いにくいと思う。
でも自分の、こどもたちへの関わりは、時々ちょっと心配…。
そんな時は、園長・主任にも会話に入ってもらおうとお互いに言いやすい
かもしれない…。

そんな話をした次の日から、B 保育士のこどもたちへの
関わりがガラッと変わりました！

話していく中で自分の中の意識が変わったんですね。

そして、それにすぐに気づくペアの A 保育士。

「なんか変わりましたね！がんばってるんですね！」

…その後、「B 先生が頑張っているから、私も穏やかに
こどもたちと関わろうと思いました！」と A 保育士。
そして「なんか、これが保育の質の向上ってものなん
ですかね」と、嬉しい気付きを教えてくださいました。



0.1.2 歳児のこどものケンカ

すぐ止める?? 見守る??



～お昼寝の時間に ちょこっと語り合い～

A 保育士 わたしは、やっぱり噛みつきやひっかきを未然に防ぎたいから、早めに仲立ちに入るな。

B 保育士 わたしは、ある程度やり取りを見守ってから、仲立ちするかな。

**どちらも目の前のこどもを大切に思っている行動！
その場、その時、そのこどもで状況も違う。**

だけど、一緒に保育している保育者が、
「そういう意図があって、こういう関わりをしていたのか！」と知るだけで、お互いを受け入れたり助け合ったりできるんだと思った。

大人同士が醸し出す穏やかな環境の中、こどもたちは安心してのびのびと自分を出して、健やかに育っていけるのかな。



これ、みてください！

～こどもの成長、共有したい～



～帰り際に事務室で ちょこっと語り合い～

A 保育士（いつも担当しているこどもについて）
こんなことができるようになったんですよ！

B 職員 わあ～ホントだあ～!! すごいね！
嬉しいね!!

こどもの成長は少しでもたくさんの
人に伝えたい！一緒に喜びたい！
事務室に来れば、仲間たちがいて、
いつでも喜び合える。
給食の先生も聞いて聞いて！



こんな時、どうする??

どんな風に、こどもたちと

関わっていったらいいかな?



～クラス会議で しっかり語り合い～

- A 保育士 こどもに注意したいことがあったとき、その子は聞きたくないから他の先生のところに行っちゃう。
そこで、他の先生が「よしよし」となだめると、私が怒る人、他の先生は優しい人になっちゃう。自分で最後までこどもに伝えたい。
- B 保育士 じゃあ、こどもが泣きながら自分のところに走ってきたときは、どうしたらいいですかね?
- C 保育士 泣いた状態だと、A 先生の話も聞ける状況ではないし、A 先生もカッカしていれば冷静に話せないかも。
- A 保育士 こどもと私でその場から離れて、場を変えたらよいかもしれない。
- C 保育士 だけど、そのまま二人で場を離れることって、こどもにとって、どうなんだろう。先生の気持ちもどうなんだろう。
- D 保育士 一旦抱っこして、こどもの気持ちを受け止めて、落ち着いてから A 先生に戻してお話ししてみるとか。
- A 保育士 今度やってみようかな。



こどもの気持ちを第一に考えて、どんな関わりがよいのか、みんなで立ち止まって考えてみる。
実践して、またどうだったか語り合う。
よりよい関わりを考え、出し合って実践してみる。
この繰り返しの中で、温かい保育が展開されていくのかもしれない。

まずはやってみよう!